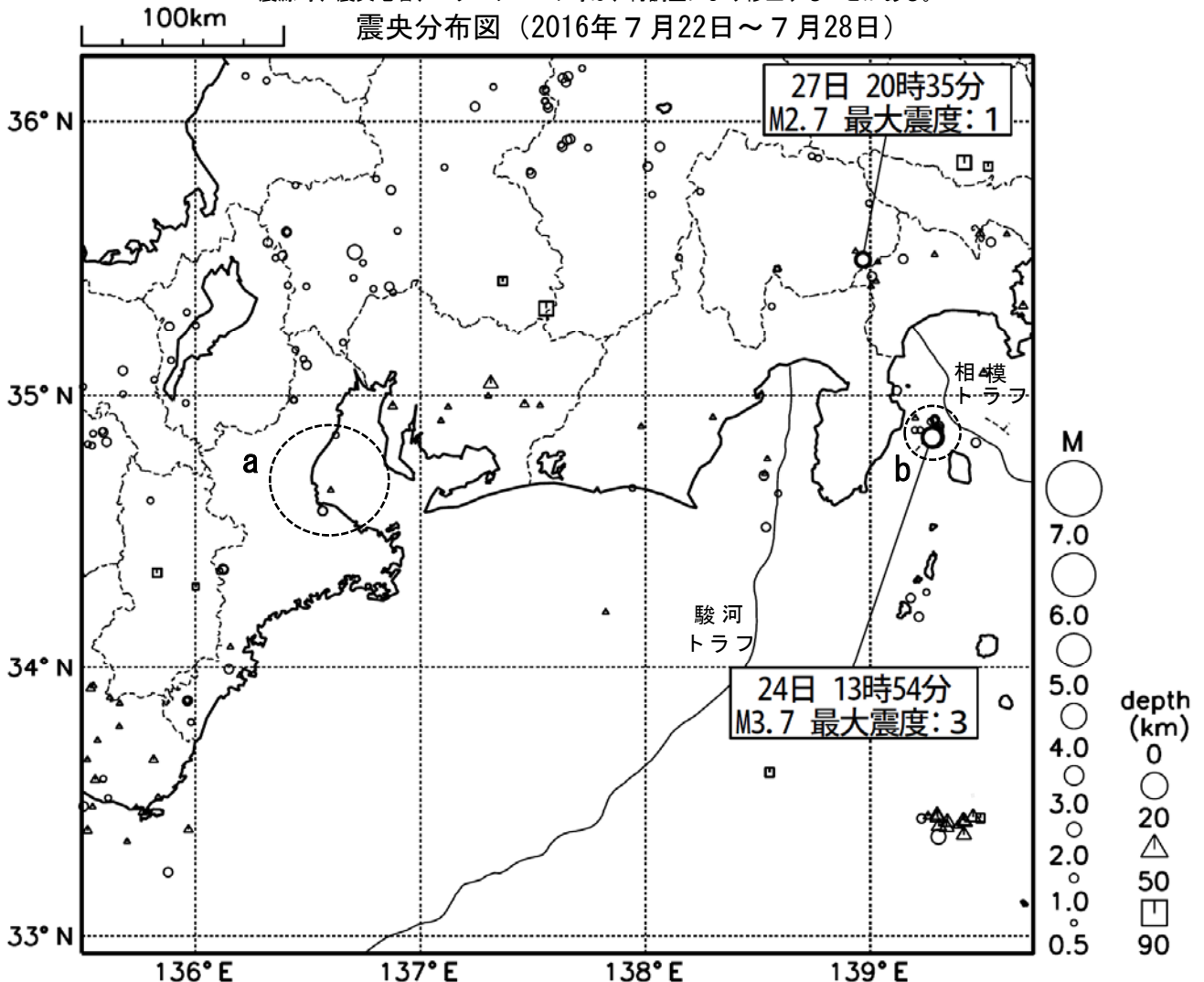


## 東海地域の週間地震活動概況 No. 31

\*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（2016年7月22日～7月28日）



“震度1以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（震源の深さ0～90km）。

### 【概況】

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は、平成27年半ば頃からは、やや緩やかになっていますが、依然継続しているように見える\*。

### 【東海地域】

#### 〔地震活動〕

- ・特に目立った活動はなかった。

#### 〔深部低周波地震活動〕

- ・27日から28日にかけて、三重県から伊勢湾（領域a）を震央とする深部低周波地震が観測され、同時期に複数のひずみ観測点で地殻変動が観測されたことから、短期的ゆっくりすべりが発生したと考えられる。

### 【その他の地域】

- ・24日から伊豆大島近海及び伊豆半島東方沖（領域b）でまとまった地震活動が始まり、24日に最大震度3が3回観測され、24日から25日にかけて最大震度1以上を観測する地震が17回発生した。

※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震の震央は表示されない。